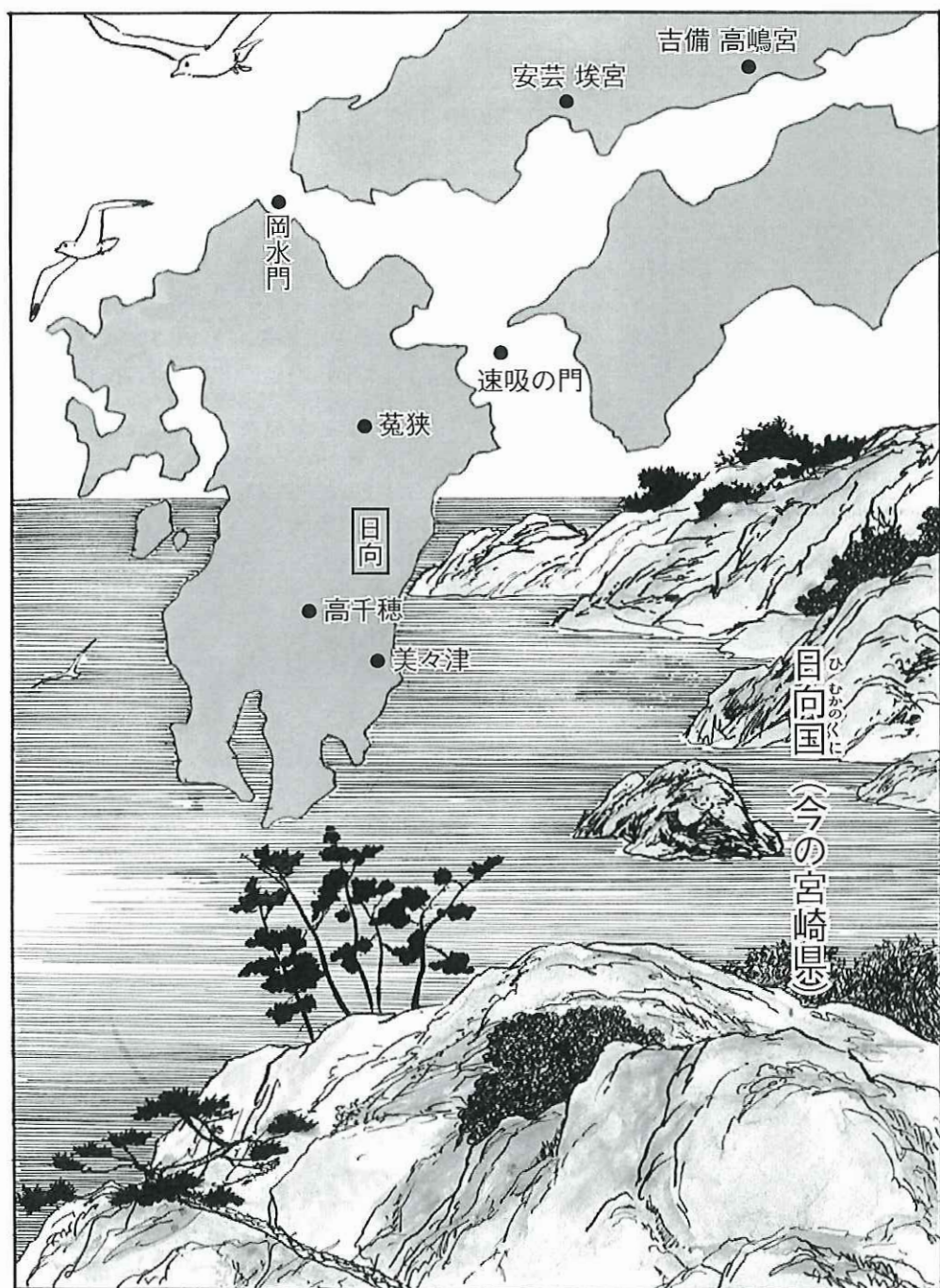


(1)神武天皇高千穂宮に御降誕

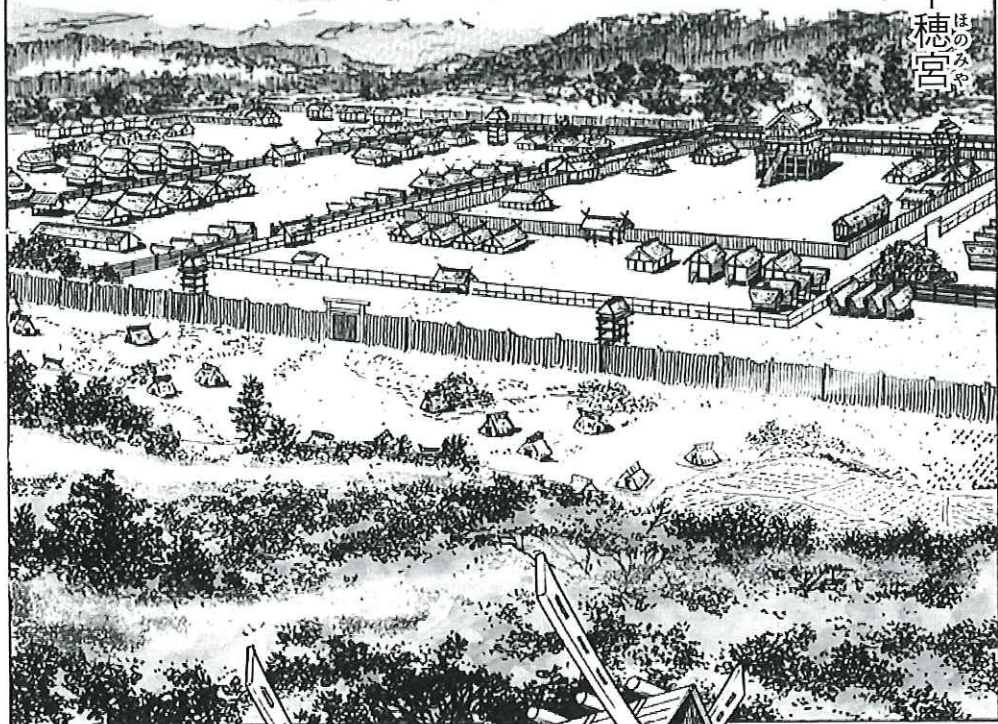
神武天皇の恩名は
神日本磐余彦尊と申します
父 鸕鷀草葺不合尊と
母 玉依姫の第四皇子として
お生まれになりました
天皇はじめ日向の国
高千穂におられました
十五歳で皇太子となられ
成長されて日向国吾田の村の
吾平津媛を后とされ
手研耳命という御子がお
生まれになりました





とうせい ご ぜんかい ぎ
(2)高千穂宮に於ける東征御前會議

たかちほのみや
高千穂宮



御年四十五のとき
天皇は兄弟四皇子と
諸臣をお集めになつて
申されました

皆の者





いまだ
この地上界は
荒ぶる国つ神や

土着の
豪族たちが

それぞれ
自分の思いの
ままに

勝手な
ふるまいを
している



すべての人々
に安らぎを
もたらし

豊かに暮らせる
ようにすることが
日の神の御子と
しての

われらの使命
である



